

西小は 大きな 家族

# Family

～校長のたわいもない独り言・その2～

令和元年6月6日（木）No.13

発行人

傷の治りかけのかさぶたって取り  
たくなりませんか？の川崎先生。

## ◆雑感&雑感&雑感◆

●中野方面からやってくる男の子と女の子たち。横断歩道を渡る時に旗を振ってあげると、毎回「ありがとうございました」とペコリと頭を下げる。交通指導員さんにも登校ボランティアさんにも、いつでも誰にもでも同じ(^\_^)。

●両手を合わせて、その中になにかを入れて近づいてくる1年生女の子。「校長先生、これみて」と言って見せてくれたのは、ちっちゃなちっちゃな”バツタ”。小さな命を優しく包むように大切に扱う。人も虫も命は大切。自然に身につく西小の子。

●6年生の彼とのジャンケン、男の意地のぶつかり合い。負けるとメチャ悔しいんですけど・・・。

●相変わらず5年生の女の子は、負けると「ぐしゅ〜」とか、勝つと「ほへえ〜」とか、意味不明な言葉を発する。この声を聞くのもまた楽しかったりする。

●最近の1年生。ジャンケンに勝つと「オシッ！！」とマジにガッツポーズする。ちょっとだけ悔しくなる還暦前のいい大人。

●松ぼっくりをくれた2年生男の子、つつじの花とクローバーの花をくれた5年生女の子。人から何かをもらうということは、一緒に”心をもらう”のだと、手の上の三つを見ながら思う今朝。

## ●自転車安全な乗り方教室 by 南アルプスマウンテンバイク愛好会 5/31 金●

平らな所はグラウンドや庭などしか無いのが西地区。一歩外に出たらそこは坂道。ならば坂道の安全な自転車の乗り方は必須。じゃあ、マウンテンバイク愛好会だ。

と言う訳で4年生の自転車安全な乗り方教室開催。結果は大成功\(^o^)/。基本的な止まり方、立ち方、スラロームにスロープなど、その内容は盛りだくさん。それも若い愛好会メンバーが楽しくリードしてくれて、みんなみんな笑顔。得意な人も苦手な人もみんな笑顔。とっても満足した時間でした。

今回の講師陣にはプロのライダーがいたり、現役レーサーの高校生がいたり、県の職員がいたり、エベレスト登山経験者がいたり、県内外からいろんな人たちが西小学校のために駆け付けてくれた。うれしい限り\(^o^)/。

自転車も試乗車を持ってきてくれたり、二人乗りを準備してくれたり、ヘルメットも貸してくれたり、スロープがあったり、放送器具まで持ち込んでくれたり、本当に至れり尽くせり。これも彼らや、それに協力してくれるメーカーやショップがあるからこそ。本当ありがたい、ありがたい。

そして2日(日)には、会員活動に来た別の愛好会の方が「ほたるみ館駐車場で4年生の保護者の方にていねいにお礼を言われてとても恐縮しました」と教えてくれた。彼らは自分の休日に合わせて来県し、自分の趣味を満喫すると共に、山のコース整備やパトロールをしてくれている。みなさん本当にいい人たちばかりです(^\_^)v。

結果「マウンテンバイク買って〜！」とせがまれている家庭が多いとか(^\_^)